



加茂小だより

令和7年
3月号

「みんな、すばらしい力をもっている」

児童文学作家の椋鳩十（1905年～1987年）は、動物を題材にした物語を数多く残しています。「大造じいさんとガン」（昭和16年作）は教科書に載り、多くの人に親しまれている物語です。

「大造じいさんとガン」の終末、ひと冬を大造じいさんと過ごしたガンの頭領「残雪」が飛び立つ場面です。

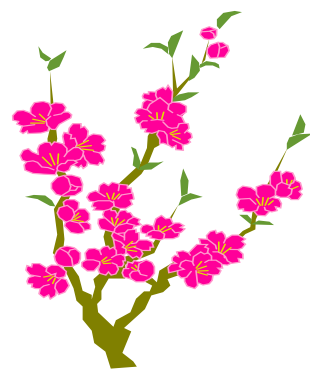
「らんまんとさいたスモモの花が、その羽にふれて、
雪のように清らかに、はらはらと散りました。」
早春に咲くスモモの白い花。ちょうど今の時季なのかもしれません。

椋鳩十は、なぜ勉強するかという問いに、次のように答えています。

「人間は一人一人、みんな、すばらしい力をもっている。
その力を出すために、勉強するんだよ。」

加茂小では、3月18日に修了式を行います。1年間、授業や行事などの「勉強」を通して、成長してきたことを確かめる日でもあります。

19日の卒業式では、小学校の「勉強」を終えた6年生が、「残雪」のように、この加茂小を飛び立ちます。これからも、もっているすばらしい力を出すために、精一杯「勉強」に取り組んでいくことを期待しています。



ところで、椋鳩十の夫人は、菊川市内の小学校の卒業生です。

保護者の皆様、地域の皆様には、本校教育に対する御支援・御協力に感謝申し上げます。

【校長 中山 豊】